



6時に起床。ホテル前のビーチで走ったり、貝殻を拾ったり…。これはサンゴです。



朝食は海が見えるレストランで



「いい思い出ができました。ありがとうございました」

【万座毛(まんざもう)】琉球王朝の王である尚敬王が、「一万人が座れる広い毛(原っぱ)」という意味で「万座毛」と評したことに由来しているそうです。



危ない!と思ったら釣りの人でした。



ソウの鼻の岩です。



屋上から眺めています。



【嘉手納基地】羽田空港の約2倍の広さがあり、200機近くの軍用機が常駐する極東最大の空軍基地です。沖縄県では県土面積の約10.7%が米軍基地であり、国内の米軍基地の約7割が沖縄に集中しています。ちなみに嘉手納町の基地面積の割合は82.8%です。ニュースで話題になるオスプレイは普天間基地に配備されています。

基地の近くで見かけました



工事現場で…



摩文仁ヶ丘



【平和の礎(いしじ)】118基の刻銘版、1,220面に、沖縄戦などで亡くなられた約25万人のお名前が刻まれています。

万座毛(まんざもう) → 安保の丘(道の駅かでな) → 摩文仁ヶ丘(平和の礎:いしじ) → 優美堂(屋敷) → ひめゆりの塔 → 平和祈念資料館 → 南風原(はえばる)陸軍病院壕 → 南風原文化センター



【平和の火】沖縄戦最初の上陸地である座間味村阿嘉島において採取した火と被爆地広島市の「平和の灯」及び長崎市の「誓いの火」から分けていただいた火を合火したものです。



沖縄県平和祈念資料館



沖縄平和祈念堂



寄進箱にお金を入れ、平和を祈ります



カメと少年



食食：ゴーヤチャンプルもありました



お店の前では… ほうきの笛です！



塔の下には巨大なガマ（自然洞窟）が

「ひめゆりの塔へ」
そして…





千羽鶴を奉納しました



第三外科職員の碑

【ひめゆり学徒隊（がくとたい）】1944年12月、沖縄県で日本軍が中心となって行った看護訓練で作られた女子学徒隊のうち、沖縄師範学校女子部と沖縄県立第一高等女子学校の教師・生徒で構成された部隊の名称。両校の学校広報誌「乙姫」と「白百合」から「姫百合」という名前になりました。両校の女子生徒222人と引率教師18名の合計240名からなる学徒隊は、南風原（はえばる）陸軍病院に看護要員として動員されましたが、米軍上陸に伴う激しい戦闘で136人が犠牲になりました。戦後、最大の犠牲を出した伊原第三外科壕跡に、慰霊塔である「ひめゆりの塔」が建立されました。



資料館の中は撮影禁止でした



資料館の庭のハイビスカス

南風原陸軍病院壕へ



12月にハブは出てこないそうです。

鎮魂と平和の鐘



病院壕20号は長さ約70mの入口の横穴壕で、高さ・床幅ともに1.8m。中は真っ暗で懐中電灯を持って入りました。



戦争当時、水や食料を運ぶために、女学生たちが何度も通った山道の跡

病院壕を復元したもの（南風原文化センター）



1.8mの通路の半分は、2段の寝台がずらりと並んでいました。灯りはローソクランプ。血や膿、吐しゃく物でもすごい匂いだったそうです。



文化センターには、懐かしい品々がたくさんありました。これはフラフープ



ホテルでの平和学習



講師は屋嘉比柴三（やかひしばそう）さん。戦争中や戦後の生活のこと、14～17歳の少年で編成された鉄血勤皇隊（てつけつきのうたい）の話などを伺いました。最後に、「新聞を読む習慣をつけ、正しい判断ができる大人になって下さい」と締めくくられました。



到着のあいさつ

よろしくお願いします。



食事は毎回、ボリュームたっぷり。この他に沖縄そばのどんぶりも付きました。「沖縄に来て1kg太った」という男子もいました。